

第2回 東京アルパフェスティバル

冬の カデンシァ

Cadencia de invierno



2023年 12月9日(土) 北区滝野川会館大ホール ◆14:30 開場
◆15:00 開演 ※17:30 終演予定

◆料金(全席指定): 一般¥5,000/学生¥2,000 ©出演者全員がチケットを取り扱います

◆総合問合せ: オフィス・アルペジオ 03-3902-5355 / 090-6005-9846 (近藤)



❄️ ケナルパン



❄️ アルパデュオ・ソンリーサ



❄️ カブマリ



❄️ ネルソン鈴木



❄️ ルシア塩満



❄️ 牧野将典



❄️ 歌田みゆき



❄️ 塩満友紀



❄️ さかもと鈴



❄️ 河瀬あゆか

❄️ 共演者(アキ11順): 表直志 / すずきあゆみ / 高橋マサヒロ / 高山直敏 / 武田耕平 / 菱本幸二 / 渡辺"@2"篤弘

企画構成: ルシア塩満

◆主催: 東京アルパフェスティバル実行委員会 ◆後援: パラグアイ共和国大使館 / 日本アルパ協会 ◆協力: 日本ニヤンドゥティ協会





ルシア塩満

パラグアイへのアルパ留学を経て、アルパ奏者として1975年にプロとしてデビュー。その後、日本でアルパとパラグアイ音楽の普及に尽力し、その功績が認められこれまでにパラグアイ政府から数々の賞を受賞。演奏活動は国内にとどまらず海外へも及び、その名は広く知れ渡ることになる。殊にアルゼンチンで行われている「コスキン音楽祭」への過去5回の出演は日本人の出場記録になっている。パラグアイでは「世界アルパ・フェスティバル」への招待出演、自己のコンサート企画など幅広く活動を続ける。CD制作にも力を注ぎ、これまでにソニー盤を含めて11枚を数えている。



《アルパデュオ・ソソリーサ》松木ありさ／エンリケ・カレラ

松木ありさは大学在学中にアルパと出会い、2005年にパラグアイへ留学。その間「グアランバレ・フェスティバル」に参加し優勝する。帰国後2007年に「第6回全日本アルパ・コンクール」で優勝する。エンリケ・カレラは10歳よりアルパを始め、パラグアイでの主なアルパ・コンクールでの優勝受賞はじめアスンシオン交響楽団との共演という輝かしい経歴を掲げ、二人は2006年にデュオを結成し活動の場を日本に移す。2008年には「第2回世界アルパ・フェスティバル」に招待され出演する。2019年にエンリケはパラグアイ政府観光庁よりパラグアイ名誉観光親善大使に任命される。



《カブマリ》池山由香／藤枝貴子／すすきあゆみ：パーカッション

池山由香は10歳のときアルゼンチンのブエノスアイレスでアルパに出会いチョチン・バルブエナ氏に師事。帰国後はチュー・チョ・デ・メヒコ氏に師事、国立音大演奏学科音楽専修卒業して日本では数少ないアルパの弾き語り奏者として活動。藤枝貴子は「第2回全日本アルパ・コンクール」出場を機にパラグアイへ留学。約2年間の留学中はパピ・ガラン氏に師事し、恩師から学び得たアルパの技巧と歌心を瞬く間に開花させ、恩師と瓜二つと評されるまでに成長。この二人にすすきあゆみのパーカッションを加えて、2台のアルパがステージ上で羽を広げた蝶々のように見えることから、グループ名を「気まぐれな(カブリチョーサ)、蝶々(マリポーサ)」と名付ける。



《ケナルパン》今村夏海／武田耕平：ケーナほか／小針彩葉：スティールパン

アンデスの笛ケーナ、メキシコの堅琴アルパ、トリニダード・トバゴの打楽器スティールパンの異色の楽器が織りなす新しいラテン音楽。今村夏海は日本で唯一メキシコスタイルのアルパの弾き語りをする。アンデス地方のケーナほか管楽器や弦楽器をマルチに扱う武田耕平。スティールパンやマリンバも巧みにこなす小針彩葉の芸達者な3人が構成するグループで、そのグループ名の由来はそれぞれのメンバーが扱う楽器から文字をつないで作り上げられている。なんと色彩豊かなサウンドが聴こえてきそうだ。



歌田みゆき

10歳よりルシア塩満氏の下でアルパを始める。2008年にセルソ・ドゥアルテ氏の指導を仰ぐためメキシコへアルパ留学。その後、NHK連続テレビ小説「つばさ」をはじめとする、TVドラマ、アニメのサウンドトラックや、各アーティストのアルバムにも参加している。2020年に第1回バーチャル国際アルパフェスティバル、2021年にコロムビア国際アルパフェスティバルに出演。楽器の魅力を伝えるべく地元の相模原を中心にレストラン、ライブイベントを展開。ルシア塩満アルパ教室のピックアップメンバーで構成するラス・カンパーナスの一員としても活動。2013年に1st.CDをリリースする。



塩満友紀

ルシア塩満氏からアルパの指導を受ける。大学卒業後メキシコに渡り、アルパをセルソ・ドゥアルテ氏に師事。その後「第9回全日本アルパ・コンクール」で優勝、学び得た力強い奏法は男性にも引けを取らない。2015年に1st.CD発売記念コンサートをサントリーホール・ブルーローズで行う。2021年には2nd.CDを制作発表し、アルパの裾野を広げるべく演奏活動を続ける。ルシア塩満アルパ教室のラス・カンパーナスの一員として国内外の要人の前での演奏を務める機会も多い。



牧野将典

2011年、2012年の2度にわたり「世界アルパ・フェスティバル」に出演。2011年パラグアイの音楽祭「グアランバレ・フェスティバル」で特別賞のルイス・ボルドン賞を受賞。同年アウグスティン・バルボサ音楽財団よりアルパマエストロのディプロマを授与される。情緒溢れる癒しのメロディーから熱く激しいラテンナンバーまで演奏し、CMソングから演歌、歌謡曲などの作編曲、ストリングスアレンジなども手がける。近年では「神戸コレクション」での演奏、書道家：武田双雲とのコラボなど、様々なミュージシャン、タレントとの共演は多岐にわたる。これまでに発表したCDは8枚を数える。



ネルソン鈴木

幼少期をパラグアイで過ごす。16歳から日本在住だったパラグアイ人のアルパ奏者ガブリエル・ゴンサレス氏にアルパの指導を受ける。2012年1年間パラグアイへアルパ留学しマルセロ・ロハス氏に師事する。2018年7月には初の単独コンサートを企画開催する。2020年に「全日本アルパ・コンクール」で金賞受賞。2022年、めざましテレビ「キラビト」(7/7「テレビ」)、2023年には「おんがく交差点」(BSテレ東)に出演。また同年8月には自己の初となるCDを録音するためパラグアイへ渡り、滞在中には多くのテレビ音楽番組に出演し話題を呼ぶ。



さかもと鈴

2011年の「第8回全日本アルパ・コンクール」でグランプリを受賞。その後パラグアイで開催された「第6回世界アルパ・フェスティバル」に代表出演し、「グアランバレ・フェスティバル」では特別招待者として演奏を披露する。また幼少期を過ごした長野県でデビューコンサートを開催する。これまでに3枚のCDを制作発表して、楽器のすばらしさと可能性を知ってもらおうと演奏活動をはじめ、近年では後進の指導にも尽力する。



河瀬あゆか

8歳でアルパに触れる機会を得て、12歳から上松美香氏に師事する。2015年、「第10回全日本アルパ・コンクール」でグランプリを受賞。国外ではマルティン・ポルティエリョ氏とセルソ・ドゥアルテ氏に師事してアルパを習得する。パラグアイ、チリ、メキシコでの国際アルパ・フェスティバルに出演し好評を博す。2016年よりスタジオアルパ長野教室を開校。長野県を中心にコンサートなどに出演しアルパの普及に努める。今回は現在活動を共にするギターの渡辺“@2”篤弘と、パーカッションの表直志が共演。

北区滝野川会館大ホール会場案内

